

# 痛み除去で寝たきり予防に全力投球

池袋から東武東上線で10分弱。ときわ台駅から歩いて1分の場合に昨年オープンした「常盤台らいおん整形外科」の院長を務める小崎直人医師は、大学ではひざと股関節の手術を中心とした治療に当たっていた若き整形外科医だ。

整形外科というが高齢者のシェアが高いこともあり、症状を抑えつつ様子を見ながら長く付き合うというスタンスが多い中、小崎医師は「かなり気合を入れて治していますよ!」と意気込む。

クリニック名の「らいおん」も、「草原を疾走するイメージから」というほどこ、運動器の機能改善にける思いは強い。

そんな小崎医師がいま最も力を入れるのが、ロコモティブシンドローム改善への取り組みだ。

「ロコモティブシンドロームとは、整

名医はこの人

## ブラックジャックを探索せ



常盤台らいおん整形外科(東京都板橋区)  
院長小崎直人

整形外科領域のさまざまな疾患が重なることで移動機能が低下して、最後には寝たきりになってしまいう危険性のある状態のこと。しかし、痛みを取って的確な運動療法を行うことで寝たきりになるリスクは低下させられます」と小崎医師。特に「痛み除去」は重要な問題で、痛みのために医療機関を受診できないという気の毒なケースも少なくない。「最近は何と安全性に優れた薬も開発されている。じつはここ板橋も独居老人が多く、これは深刻な問題」と語る小崎医師の言葉も熱を帯びる。

大学では骨代謝の研究をしていたこともあり、現在のクリニックでも高精度骨密度測定器を導入するなど、骨の健康への取り組みの強さは並ではない。

地域にこうした整形外科医がいるか否かで、そこに暮らす人の安心感は大きく変わってくる。大好きな手術を捨てて開業に踏み切った小崎医師の判断が、地域から評価される日はそう遠くはなさそうだ。(長田昭二)



一ツ木・なおと 1975年千葉県船橋市生まれ。2000年慶應義塾大学医学部卒業。同大附属病院、静岡赤十字病院、済生会横浜南部病院、東京都立大久保病院、東京大学附属病院、藤田保健衛生大学病院、埼玉社会保険病院等を経て09年11月に常盤台らいおん整形外科を開設し院長。医学博士。趣味は旅行。